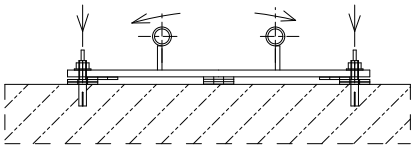
(ﾛ) 動きが重いときは、前後方向の歪が考えられます。レールベースプレート中心にライナーを挿入して歪を調整して下さい。



中心を持ち上げるようにすることにより、
レールが前後に少し広がります。

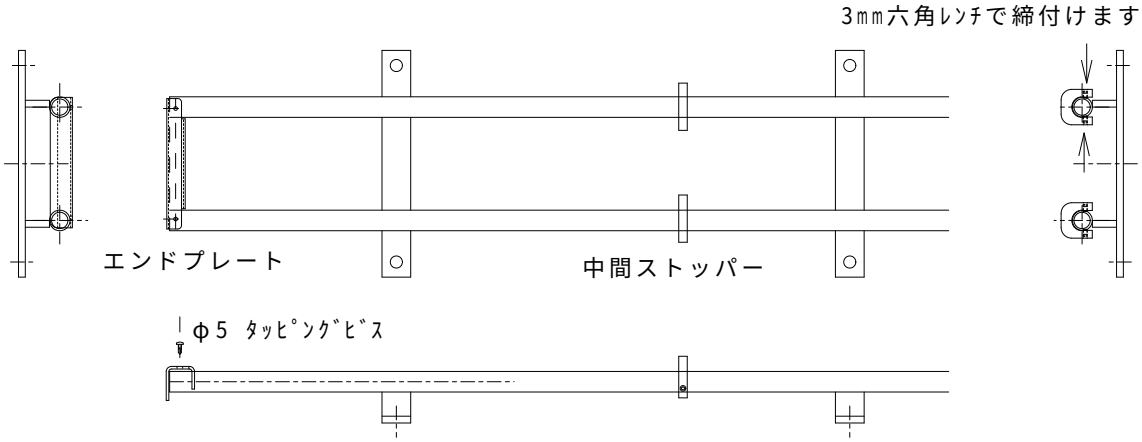
④ 駐輪ユニットカバーの緩衝クッション確認

運搬時に緩衝クッションが損傷又は脱離することが予想されます。この場合、予備クッションと交換して下さい。

5．エンドプレート・中間ストッパー取付

（１）ユニットを挿入し、微調整が終わったら、エンドプレートを取付けます。

（２）必要に応じて、中間ストッパーを取付けます。



＜中間ストッパーの目安＞

境界が壁面の場合、自転車ハンドルが壁面に接触しないようにします。

また、１ラインのユニット数が多い場合、２０～３０台ごとに仕切って、移動を制限します。

6．清掃・後片付け

周辺の清掃はもとより、駐輪機事態の汚れ等も拭き取ります。

7．確認

最後にもう一度、台数、動き具合等の確認・点検を行って下さい。